



読解力向上を目指す マルチメディアデイジーの活用

～宝塚市立小学校の通級指導教室での実践～

宝塚市立長尾小学校
宝塚市立高司小学校

東浦 裕也
杉谷 和雄

宝塚市の通級による指導

- 基本は週1時間のマンツーマンの個別指導。
- 時間数は個々の実態に合わせて週に3時間など相談あり。
- 課題が似ている場合やSSTなどは、小集団で指導。
- 宝塚では、拠点校の通級指導教室担当者が巡回で2校～3校程担当。今年度から市内全ての小学校で通級指導が受けられる。
- 1週間の動き（長尾小学校）

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
長尾小学校	逆瀬台小学校	長尾小学校	長尾台小学校	長尾小学校

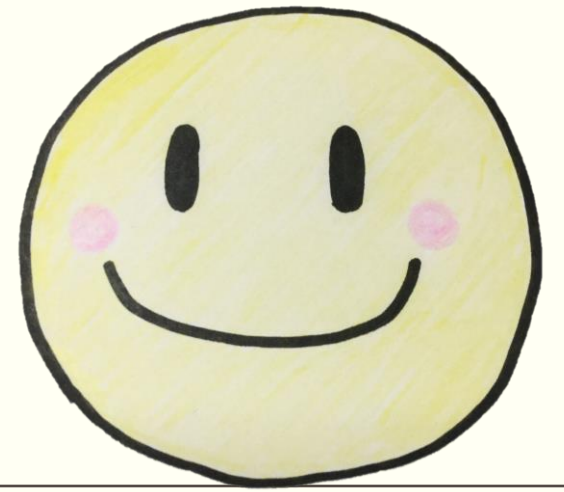
- 日常的に使えるスキルや技能を目指す。

マルチメディアデিজナーのメリット

- ◆ 漢字のルビ
- ◆ 一定の間隔のハイライト
- ◆ 文字の大きさ調節
- ◆ 音声のスピード調節
- ◆ 背景と文字の色の調節



読解力の向上、読む楽しさの実感



長尾小学校（スマイル）での実践

読解力向上を目指して



音読

- ・ 範読を聞いて、内容の理解を深めてから音読をする。
- ・ マルチメディアアイジーと一緒に読む→音を消して読む。
- ・ 教室で読む練習として、リーディングトラッカーを使用。
- ・ 教科書には読めない漢字にルビとつまる箇所にスラッシュの書き込みをする。
- ・ 分からない言葉は○で囲み、意味を知る



リーディングトラッカーとリーディングルーペ

読解力向上を目指して

◆ 読解

- ・ 初見の文章の読解問題に取り組む。
- ・ 範読→内容に関する質問→本文にスラッシュ等の書き込み
→音読→問題を解く。

◆ 担任との連携

- ・ 国語の授業に自信をもてるよう、予習のための進度の共有。
- ・ 音読テストや宿題の音読箇所指定。
- ・ 日常的にルビの促し。
- ・ 教室でのリーディングトラッカーの使用の説明。



カラフル
学習室

高司小学校（カラフル）での実践

通級指導教室におけるデイジー図書の使い方 「読解力テストで〇〇点以上取ろう！」

◆ デイジー図書（*予習で行う）

①場面ごとにデイジーを聞く。

②1～3行ずつ。デイジーを聞く。

③デイジーを聞きながら、自分で口ずさむ。

④デイジーに合わせて、読んでいく。

⑤自分で、読んでみる。

⑥質問に答える。例えば、「くじらぐも」だったら、「何年何組ですか？」

⑦宿題で聞く練習または読む練習をしてくる。

通級指導教室におけるダイジー図書の使い方 「読解力テストで〇〇点以上取ろう！」

◆ ダイジー図書と一緒に使う教材で読解力を上げる。

- ・ 絵カードを使って、読みの練習。
- ・ ひらがなカード並べ。
- ・ 漢字ドリルの読み。
- ・ 読解プリントを使って、読んで答える練習。
- ・ プレテストを使って、読んで答える練習。

◆ 支援

- ・ 漢字が読めない場合は、ルビ打ち。
- ・ 文字を書くのが苦手な場合は、口頭で答える。
- ・ 別室で問題を解く。
- ・ 解答時間を延ばす。または、休憩を入れる。



くもん
生活図鑑
カード



ひらがな
カード

今後の展望

- ◆ マルチメディアダイジー活用事例の分析。
- ◆ 児童一人ひとりがもっているタブレットでのマルチメディアダイジーの活用。
- ◆ 低年齢からの読みの支援を始められるようなスクリーニング。
- ◆ 教科書を読むことに苦手意識が積もっている児童にダイジー子どもゆめ文庫を活用して読解力向上を目指す。